

【資源有効活用推進委員会】質問・提案



「ごみを少なくする方法」について

今、私たちは便利で豊かな暮らしをしているが、便利になるほど、ごみは増え続け、それを処理するための費用と石油や電気などのエネルギー使用量がより必要になる。

資源が循環する持続可能な社会に向けて、できる取組を知ってもらうための質問と提案

- ①福山市では、ごみを少なくする方法として、どのような取組を行っているのか。
- ②昨年1年間で回収した、紙類の量の実績について
- ③一部のPTAの皆さんが行っている、進級や進学した時に使い終わった教科書などを持ち寄りリサイクルする活動を、市内の全小中学校で取り組んではどうか。
- ④制服や教材などを学校に持ち寄り、バザーのような形で、必要とする人に使ってもらうリユース活動を全小中学校で取り組んではどうか。

①「出前講座」や「ごみ分別ガイドブック」を活用して啓発を行っています。昨年度の子ども議会の提案の「水切りネット」の配布について、チラシとともに市民の皆様配布し、生ごみ減量化の啓発を行っています。

②2015年度（平成27年度）に10,409トンでした。（前年度比較345トン減）

③資源が循環する社会の重要性をより身近に感じることができる大変よい取組であり、今後、より多くの小中学校に広げていきたいと考えております。

④環境にやさしい行動を意識づける、とてもよい提案であると思います。多くの小中学校で実施していただけるよう、働きかけて参りたいと考えております。

【資源有効活用推進委員会】質問・提案の資料

